

# 農業振興公社だより

あけましておめでとうございませす



理事長 大友 喜助

【新年のご挨拶】  
会員の皆様には、新たなお気持ちで令和二年の新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、台風十九号による甚大な浸水被害を受けました。角田市としては、住家の床上床下浸水などで千五百戸を上回る被害であり、先ずは生活の場の確保や災害家庭ごみの処理を努力しております。

農業関係では、田畑の冠水等で農作物被害（水稲・大豆・イチゴ・ブロッコリー）や農業用施設・機械等で七億四千万円の被害とみております。さらに、ため池・水路・農道・農地・土地改良施設で多くの被害を受け、被害金額五十五億八千万と見込んでおります。また、稲わらの処理についても十立方メートルと見込まれ、早期の処理を地域や農家と方々と実施してい

るところであります。今年の営農にできるだけ支障のないように、国や県・関係機関と協議をして、農道・水路等の復旧や農業施設・機械の復旧の支援を図ってまいります。

国は、五年前に創設した農地中間管理事業の見直しをして、法改正を行い、令和二年四月一日から農地利用集積円滑化事業（現在角田市農業振興公社で実施中）と農地中間管理事業の一体化として、農地中間管理事業に一本化となりました。農地バンク（農地中間管理機構・宮城県の場合は、みやぎ農業振興公社）からの業務委託を受けて、市公社が農地の貸し借りを、角田市の窓口として行うこととしています。今後、農地利用集積円滑化事業の契約満了までは、契約は継続することとなっております。市公社が精算業務等を行います。契約満了後には、農地バンク（農地中間管理機構）を利用するの貸し借りをお願いします。（※詳細はこの号で掲載しています）

結びに、皆様のご健勝と益々のご活躍、そして災害のない実り多い年になることをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とします。

◆ 発行 ◆

（公社）角田市農業振興公社  
〒981-1505 宮城県角田市角田字大坊四一  
電話 (0224) 63-1328  
FAX (0224) 61-1511  
URL <http://www.kakunou.or.jp/>

E-mail [kakuda@kakunou.or.jp](mailto:kakuda@kakunou.or.jp)

## ソリマチ農業簿記 操作研修会を開催

十一月十三日（水）、角田市農業青色申告会（面川義明会長）と角田地域担い手育成総合支援協議会と共催で農業青色申告会の会員を対象に、農業簿記操作研修会を公社会議室で開催しました。

研修会には午前、午後を合わせて十七名が出席しました。農業簿記のソフトウェアであるソリマチ株式会社より講師をお招きして、今回バージョンアップになりました「ソリマチ農業簿記11」のソフトと研修用テキストを使って操作研修を行いました。



研修会では、今回の税制改正で軽減税率制度が導入されたことに伴い、きちんとソフトが消費税率を計算するための設定方法などの話がありました。長時間の研修にもかかわらず、出席した会員は講師の先生に質問するなど熱心に受講されてい



# あぶくま農学校『出前塾』

## 目黒区商工まつり (リバーサイドフェスティバル)

### 【参加者調整会議】

今年も目黒区商工まつり（リバーサイドフェスティバル）に参加することとなり、出品する農産・加工品を決める参加者調整会議が七月十六日（月）開催されました。

この会議では、目黒区商工まつりに参加していただける農家の皆さんが販売する農産・加工品の数量及び販売金額等を決めていただく会議です。今年は五名の方が商工まつりに参加していただけることとなり、当日のスケジュール等について説明を行いご理解とご協力をお願いいたしました。

今年も、出店場所が屋内ということもあり、悪天候と暑さへの心配は無いものの健康面（熱中症等）には十分注意していただきたいと思います。お願いし、会議を終了いたしました。

### 【イベント当日】

七月二十七日（土）、二十八日（日）開催の目黒区の区民センターにて商工まつり（リバーサイドフェスティバル）に参加いたしました。産直コーナーは、角田市のほか九市町村が区民センター二階で各ブースを設け、農産物、加工品等の販売を行いました。当初は屋内ということもあり、客足が鈍かった

ものの順調な売り上げで初日には品薄状態となり、二日目で農産物については完売いたしました。人出は、昨年度以上という開催者側の報告でした。角田市の農産物については目黒区の皆様が待ち望んでいるということもあり、今後もより多くの生産者の方に参加して頂けるよう、声かけを行いながら消費者の皆様喜んでいただ



△販売の様子

けるよう販路拡大を目指して参りたいと考えております。

## 目黒区消費生活展

### 【参加者調整会議】

十月の台風十九号による甚大な被害を受け出店するかどうかを検討していましたが目黒区の職員が角田市に災害派遣をして頂いていることや、被災者支援をお願いする機会ととらえて参加することとして、参加者調整会議を十月三十日に開催しました。被害を受けたこともあり今回の参加者は五名となることや、品目や数量などの調整を行い、コメや野菜など二十品目を出店することとなりました。

### 【イベント当日】

十一月九日（土）に第四十八回目黒区消費生活展の販売イベントに農家さん五名と参加いたしました。イベント前日には、実行委員会関係者との懇親会も開催され、この場で、角田市の被災状況の話しをさせていただき、多くの励ましの言葉をいただき激励会の様相とあいなりました。

販売イベント当日は、天候も良く朝から多くの来場者がお見えになり、コメ・野菜等を陳列して販売をいたしました。野菜等は午前中でほぼ売り切れし、コメの試食を行ったこともありコメも最終的には完売をしたところであります。



す。台風被害の状況についても写真等を持参して説明を行い、多くの激励をいただいたところであります。また、この実行委員会が主催して、会場で募金箱が設置され、角田市への寄付を募ることも行われました。後日、この実行委員会から義援金が寄せられ、全額を角田市へ寄付したところであります。

東京都目黒区の小学生が稲刈りを体験

月光原小学校・西根小学校

西根小学校では九月二十一日（土）に全校児童六十七名に、月光原小学校児童二十七名と引率者十名を迎え、「あぶくま農学校」農業稲刈り体験及び修了証書授与式に参加して頂きました。西根小学校体育館に月光原小学校の方々をお迎えして稲刈りはじめの式を両校の児童挨拶を行ってから、学校学習田へ移動しました。子供たちは鎌を使って稲刈りを行い、稲刈り終了後に体育館に戻って、あぶくま農学校副校長（角田市教育長）から終了証書を授与し、両校の児童からの感想発表を行い無事終了しました。その後、月光原小学校児童等は、西根小学校と交流会（コンサート）を開催しその日は、スポーツ交流館に一泊しています。



緑ヶ丘小学校・北郷小学校



下目黒小学校・枝野小学校

枝野小学校では十月五日（土）全校児童八十六名、下目黒小学校児童関係者三十五名お迎え、枝野小学校北側の十アールの田んぼで無事終了しました。

北郷小学校では、十月三日（木）五年生二十五名で、農業稲刈り体験を及び修了証書授与式に参加して頂きました。稲刈指導等は地元農協青年部が行い、児童は鎌を使って稲刈りを行い、いったんきれいに稲束をまとめておいてから、コンバインでの脱穀作業を行いました。児童は稲刈終了後小学校に移動して、あぶくま農学校副校長（角田市教育長）から終了証書を授与し、児童から感想発表を行い無事終了しました。

農業稲刈り体験を及び修了証書授与式に参加して頂きました。午前中に全員で稲刈りをして、稲刈終了後小学校体育館に移動し全員でおにぎりと豚汁で昼食をとり、枝野小学校の児童による「大森太鼓」の披露をしていただきました。その後、あぶくま農学校副校長（角田市教育長）から終了証書を授与し、両校の児童からの感想発表を行い無事終了しました。その後、下目黒小学校児童等は、枝野小学校児童（希望者）とスポーツ交流館で交流会を開催し、その日はスポーツ交流館に一泊しています。



角田・目黒絆交流



△修了証書授与式の様子

目黒・角田絆交流では、十月五日（土）に、目黒区緑ヶ丘小学校有志（児童六名・保護者十三名）が、農業稲刈り体験を及び修了証書授与式に参加して頂きました。午後から北郷の田んぼで稲刈り作業をして、郷土資料館でホームステイ先の方々との対面式とあぶくま農学校副校長（角田市教育長）から終了証書の授与を行いました。参加者はホームステイ先一泊し、翌日は刈り取った籾の乾燥調製の様子を見学しています。

# 今年も『土の塾』開催！

あぶくま農学校「土の塾」が八月二十二日(木)から二十五日(日)までの三泊四日開催され、今回は、東京農業大学の学生三名のみの入塾となりました。初日は、午後一時から開校式を開催し、あぶくま農学校の「土の塾」塾長の小松光一氏から挨拶を頂いたあと、市農業振興公社事務局長仙石利幸から「角田市の農業について」を講話していただきました。

その後、市内農業施設等見学で、島田地区の(農)館島田生産組合の小野組合長から「高収益作物導入による持続可能な法人経営を目指して」と題して、法人として今までの取り組み状況を説明した頂き農業用施設(米の乾燥調製施設・ネギの出荷調整施設)見学させていただきました。次に、角田地区土地改良区からの説明で、新坂津田揚水機場と江尻排水機場の見学を行いました。

田んぼの用水に関して、先人からの取り組みや現在の状況について説明を受け、感慨深く話に聞き入っている様子でした。  
その後、ホームステイ対面式(夕食を兼ねて)を行い、その後ホストと一緒に帰宅し三日間の農家実習に入りました。

## カメラリポート

### 【開塾式及び講話の様子】



### 【市内見学く館島田生産組合】



### 【市内見学く揚水機場・排水機場】



### 【農家実習】



△農家実習の様子

### 【百姓講義】



△塾生に3日間で感じたことなどを発表して頂きました

ホームステイ先の百姓先生からも一言ずつ激励の言葉を頂きました →

### 【閉塾式】



今年も、酒自慢が一堂に会しました

おらほの美酒を育てる会（岸浪俊一会長）及び角田市が主催し、みやぎ仙南農業協同組合共催による第八回「かくだ酒まつり」が、八月二十四日晴天の元仙南シンケンファクトリーを会場に盛大に開催されました。



今年も、新たな企画に挑戦し、その一つとして、えんころ節角田大会を実施しました。発祥の地角田でえんころ節を披露できるというところで、市内外から七十五名ものエントリーがありました。入賞者は以下の通りです。

- 優勝 佐藤 林作 様
- 二位 柳 柳 一彦 様
- 三位 鈴木 初夫 様



また、今年は、チケット購入者お楽しみ抽選会を開催しました。空くじなしの豪華景品をゲットしようとして、三百五十名の方がチャレンジしました。

十六時から、大友角田市長の開会の挨拶のもと、利き酒大会の開会式が開始されました。引き続き、角田在住の歌手 北了太さんのライブが開催され、ヒット曲「恋して仙南」では大友市長とデュエットし参加者の皆さんから喝采を浴びました。



利き酒大会は、今年より日本酒のみとなりましたが、喉自慢八十二名が参加し熱い戦いを繰り広げました。さらに、今年は審査委員に北了太さんをお迎えして飛び入りカラオケ大会を開催しました。こちらものどに自信のある強者十七名が参加しました。



最後に、カラオケ大会と利き酒大会の結果発表が行われました。今年の参加者の皆さんの実力は大変伯仲しており大接戦でした。



- 入賞者は次の通りです。
- ◎カラオケの部
- 優勝 三浦 祐一 様
  - 二位 我妻 国夫 様
  - 三位 平間 美代子 様
- ◎利き酒大会
- 優勝 石川 孝 様 百点
  - 二位 芦名 茂夫 様 九十八点
  - 三位 藤野 浩 様 九十六点



みなさん、角田の酒を美味しく楽しくいただきましょう。「酒は天の美祿なり」でも飲みすぎには十分ご注意をー！！「酒は百薬の長、されど万病の元」

# お 知 ら せ

農地中間管理事業の見直し法改正（令和元年 5 月 24 日公布）で、角田市農業振興公社で行っていた農地利用集積円滑化事業（農地の貸し借り業務）は、令和 2 年 3 月 31 日で廃止となり、農地中間管理事業に一体化されます。

## ○法改正での経過措置

- ①農地利用集積円滑化事業での契約は期間満了までは、そのまま継続します。満了後に農地中間管理事業へ切り替えをお願いします。令和 2 年 4 月 1 日（法施行日）以降は、農地集積円滑化事業での新規契約（更新も）は出来なくなります。
- ②農地利用集積円滑化事業での契約の期間満了までは、市公社で賃借料の変更や精算業務は継続します。
- ③令和 2 年 4 月 1 日（法施行日）から 3 年間の間に、農地利用集積円滑化事業での契約内容をそのまま、農地中間管理機構（みやぎ農業振興公社）に一括承継が可能となっています。（詳細は未定です。）

角田市農業振興公社は、農地中間管理機構（みやぎ農業振興公社）と業務委託契約をしており、農地中間管理事業の角田市の窓口となっています。令和 2 年 4 月以降の農地の貸し借りは農地中間管理事業で契約をすることとします。農地中間管理機構（みやぎ農業振興公社）では、耕作者・地権者から賃借料の 1% を手数料としてお願いしています。ご理解願います。

○令和 2 年 4 月 1 日（法施行日）後に農地中間管理事業の実施区域が拡大され、今までは、農業振興地域内でしたが、角田市全域となります。

○農地中間管理事業での契約では、契約期間は、10 年以上となっています。

○農地中間管理事業での農地を借りるためには、（担い手として）

- ①「人・農地プラン」計画の「今後の地域の中心としての経営体（中心経営体）」に搭載されていることが必要です。（担当：市農林振興課）
- ②農地中間管理機構（みやぎ農業振興公社）の借受希望者として登録されていることが必要です。（担当：みやぎ農業振興公社 受託機関：角田市農業振興公社）

公益社団法人角田市農業振興公社 6 3 - 2 3 2 8

